

大会細則・競技運営に関する事項

ZKR-26-007

(修正版)

- 1 出場チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに必ず球場に到着していること。試合開始予定時刻を超過しても何らかの連絡もなく、チームが到着していない時は、当該チームは棄権として処理する。
- 2 各チームは、第一試合においては試合開始30分前に、その他の試合にあつては前試合の4回終了時に、主将はオーダー表5部を本部に提出して、登録名簿との照合を受けた後に本部役員、審判員立会いのもと攻守を決定する。オーダー表には先発メンバーと当該試合の参加人数を記入すること。交代選手の確認はプログラム記載の参加申込書により行い、記載のない選手はベンチに入れない。
- 3 監督・主将の代行については、試合前オーダー表に記入し本部に提出する。本部は、両チーム、審判員、放送担当に配布する。
- 4 シートロックは行わない。また、次試合の先発バッテリーはメンバー交換終了以降、球場内の所定の場所にて、練習を認める。(審判員の指示に従うこと。)
- 5 ベンチに入るものは、ユニフォームを着用した登録された監督、選手の他は代表者、マネージャー、記録員 各1名とする。
- 6 選手交代は、監督が同行して球審のところに行き、交代を告げ背番号を本部席、相手チームに見せ確認後、打撃・守備・走者につくこと。
- 7 日没、降雨、その他の理由によって審判員が試合続行不可能と認めた時点で、5回表裏を完了していない場合は翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。この場合、打順及び守備は中断時と同一の状態を開始する。すでに5回を完了している場合は、それまでの得点が多いチームを勝ちとする。5回完了後又は7回を終えて同点の場合は決勝戦のみ「特別延長戦」を行い、他は抽選とする。
- 8 時間制限(110分)を設定する場合は、同点時の「特別延長戦」は行わな

い。また、試合開始時間及び制限時間到達の通告並びに5回以降の試合終了の処理は、競技者必携の「審判員・選手への注意事項」中、「試合時間の管理について」または本連盟が発出した「試合時間制限採用時の取扱いについて」に基づき行うこと。

- 9 試合進行上の異議申し立ては、必ずそのチームの監督と当事者の内、一人のみ行うことができる。

いかなる理由があっても他の者が異議申し立てをすることはできない。監督と主将が不在の場合は、事前に本部へ代理監督、主将を届けておくこと。

- 10 雨天の場合でも本部から連絡がない限り試合を行う。また雨天時の試合の可否は午前7時とし、各チームの代表者または連絡責任者が大会本部に確認すること。

- 11 金属バットは連盟公認（JSBB印）のものを使用すること。試合中、雷が発生した場合には、状況を判断して試合を中断して全員を安全な場所に避難させ、气象台等の情報を把握し、その後の処理を行う。危険防止のため打者、走者、捕手、ベースコーチはヘルメット着用を義務付ける。

また、捕手にはマスク、プロテクター、レガースを、攻守交代時に投手の投球練習を補佐する選手もマスクの着用を義務付ける。尚、ファウルカップについては着用が望ましい。

ベンチは組合せ表の若い番号を一塁側とする。また、ベンチサイドのファウルボール、ボールデッドのボールは各チームで処理すること。

- 12 試合中次打者以外の者は、みだりにベンチを出る行為は禁止する。ただし、競技の準備する者、ボールデッドのボールを処理する者は除く。

また、ベンチ内で携帯電話を使用することは厳禁とする。

以 上